

会 議 録

会議の名称	多摩北部都市広域行政圏協議会 令和5年度 第2回審議会
開催日時	令和6年2月8日(木) 午後3時23分から午後4時40分まで
開催場所	多摩六都科学館 2階 201会議室
出席者	小平市 石津はるか委員 高橋政美委員 西原政策担当係長 東村山市 土方桂委員 石橋光明委員 小倉企画政策課長 清瀬市 宮原りえ委員 ふせ由女委員 東久留米市 野島武夫委員 三浦猛委員 佐藤企画調整課長 西東京市 山田忠良委員 八矢好美委員 豊田企画政策課主事 事務局 澁谷桂司 清瀬市長(協議会会長) 今村事務局長 鈴木次長 畠山主査
議 題	(1) 審議会のペーパーレス化について (2) 令和5年度 専門委員会の活動報告及び評価について (3) 令和6年度 専門委員会の付託事項について (4) 令和6年度 多摩北部都市広域行政圏協議会予算について
報告事項	(1) 令和5年度 多摩六都フェアの開催状況について (2) 施設の広域連携に関する取組について (3) 清瀬市立科山荘の相互利用の終了について
会議資料	資料1 審議会のペーパーレス化について 別紙 多摩北部都市広域行政圏協議会審議会における情報通信技術の活用に関する基準(案) 資料2 令和5年度 専門委員会の活動報告及び評価について(2月8日時点) 資料3 専門委員会報告 資料4 令和6年度 専門委員会への付託事項 資料5 令和6年度予算の概要(主な増減) 令和6年度 多摩北部都市広域行政圏協議会予算書 資料6 令和5年度 多摩六都フェアの日程等について 資料7 施設の広域連携に関する取組について
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会 議 内 容	
<p>1 開会</p> <p>2 多摩北部都市広域行政圏協議会 審議会会長 挨拶 多摩北部都市広域行政圏協議会会長 挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 審議会のペーパーレス化について</p> <p>●事務局から、資料1、別紙により説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回から会議資料をペーパーレス化する。 ・情報通信技術の活用基準案により、会議での端末利用等を定め、本日から施行する。 <p style="padding-left: 2em;">—異議なし</p> <p>●質疑応答 (八矢委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座席表と出席者名簿もペーパーレス化してはどうか。 <p style="padding-left: 2em;">—異議なし。次回から対応することとする。</p>	

(2) 令和5年度 専門委員会の活動報告及び評価について

●事務局から、資料2、資料3により説明

- ・多摩六都広域連携プランに基づき、5つの専門委員会の本年度の取組状況と評価をまとめた。
- 都市建設専門委員会
 - ・都市計画道路や踏切の地図を更新作業中。年度内に完成予定
 - ・連続立体交差事業中の東村山市駅付近の事業期間が令和10年度末まで延長
 - ・西武鉄道が令和5年5月に、花小金井駅と小平駅でホームドア整備を検討する旨を発表
- 緑化専門委員会
 - ・「水と緑ウォッチングウォーク」は「ナラ枯れ」や下水道見学等、圏域全般に関わる内容
 - ・市立公園の維持管理について情報交換
 - ・優先整備区域に、東村山市の薬師山緑地が追加
- 情報推進専門委員会
 - ・本専門委員会は、小平市・東村山市・東久留米市自治体クラウド化等の成果を上げたが、システムの全国標準化や共同調達が国や都レベルで進む中、5市での共同事業は見出し難くなり、本年度末をもって廃止する。今後は実務者連絡会として情報共有を続ける。
- 生涯スポーツ専門委員会
 - ・「たまるくとクリーンウォーキング」を新規開催
- 産業・観光振興専門委員会
 - ・多摩観光推進協議会の回遊性イベントに協力。アニメスタンプラリーは4年目。参加者数は紙・アプリいずれも減少傾向
 - ・多摩東京移管130周年記念イベントに多摩六都科学館と連名でブース出展した。2日間で1,000件、2,000名程度の来訪あり

●質疑応答

(三浦委員)

- ・①多摩六都フェアに関して、前回説明のあった文化の実務者連絡会は如何か。
- ・②文化の実務者連絡会の目的は何か。
- ・③実務者連絡会ではなく、委員会にする考えはないか。

(事務局)

- ・①文化芸術施策担当実務者連絡会を令和5年10月に設立し、10月と1月に開催した。
- ・②圏域の文化芸術の振興、文化施設の意見交換、多摩六都フェアの文化事業の検討・改善等
- ・③共同事業の実施等進展があれば、専門委員会とすることもあり得る。

(三浦委員)

・現在の多摩六都フェアのライブイベントやダンスイベントは、コロナ禍もあり、参加人数がそれほど多くない。集客を見込める取組で、地域の若者の表現の場をよりよくしたい。例えば、多摩六都フェアの同時開催や、産業・観光振興専門委員会のイベントで屋外ステージを作る等、専門委員会の間で連携して違った角度から効果的な取組を検討してほしい。

(石津委員)

- ・①都市建設専門委員会の連続立体交差化、鉄道利便性向上の情報共有で見た課題は何か。
- ・②多摩六都スポーツ大会の前年比、目標と参加者数は如何か。広報に力を入れてほしい。

(事務局)

- ・①令和2年度の東京都・西武鉄道への要請活動やその後の意見交換等から、連続立体交差化等のまちづくりについて市の考えを構築することが課題だと各市で共有している。
- ・②「たまるくとクリーンウォーキング」は新規開催。定員60名に当日の参加者は40名

(宮原委員)

- ・①「たまるくとクリーンウォーキング」の案内を見かけなかった。広報が不十分ではないか。参加者が固定化しないよう、様々な方面に告知してほしい。
- ・②益々のICT化・DX化が求められる中、情報推進専門委員会を廃止する理由は何か。
- ・③来年度に新しく立ち上がる委員会があるか伺いたい。

(事務局)

- ・①各市の広報紙・ホームページ、協議会ニュース・Webサイト等で広報した。主管市や専門委員会に伝え、広報の方法を検討していく。

- ・②5市での共同事業を見出し難いため一旦廃止する。5市とも情報共有が重要と認識しており、実務者連絡会で連携関係を続けていく。
- ・③広域行政圏計画専門委員会を立ち上げ、令和6年度と7年度の2年間で活動する予定

(八矢委員)

・魅力発信がアニメスタンプラリーで十分か、ポスター等PRが圏域の魅力が伝わる内容か、産業観光に直結するイベントになっているか疑問がある。新鮮な視点が必要と考える。地域で隠れた匠、技を持っている方々とのマッチングが出来ると良い。

(事務局)

- ・意見を専門委員会・多摩観光推進協議会に伝える。
- ・来年度以降、圏域の魅力発掘・発信の調査を検討している。

(3) 令和6年度 専門委員会の設置・付託事項について

●事務局から、資料4により説明

- ・令和5年度の活動報告及び評価を踏まえて、協議会で来年度の付託事項をまとめた。既存の4つの専門委員会を継続させ、新規で広域行政圏計画専門委員会を新設する。

●質疑応答

(ふせ委員)

- ・緑化専門委員会で、樹木の「ナラ枯れ」の対策は掲げられているか。

(事務局)

- ・緑化専門委員会で問題視し、情報交換している。

(4) 令和6年度 多摩北部都市広域行政圏協議会予算について

●事務局から、資料5により説明

- ・令和6年度予算は、協議会で承認を得た内容
- ・歳入歳出予算総額 2千150万3千円、前年度比662万9千円の増
- ・歳入は、負担金、繰越金ともに増。助成金相当額を専門委員会委員長の東村山市に上乗せ
- ・歳出は、広域行政圏計画策定、多摩魅力発掘・発信、事務局移転費、会計年度任用職員費用等の計上により増。計画策定について債務負担行為を設定する。

一質疑なし

4 報告事項

(1) 令和5年度多摩六都フェアの開催状況について

●事務局から、資料6により説明。

- ・10月から5つのイベントを開催し、委員にも来場いただいた。今後、4つのイベントを予定
- 一質疑なし

(2) 施設の広域連携に関する取組について

●事務局から、資料7により説明

- ・多摩六都広域連携プランを踏まえ、令和3年度から幹事会で情報交換を行っている。
- ・公共施設等総合管理計画の改訂を西東京市が3月に予定。5市とも改訂済となる。

●質疑応答

(宮原委員)

・スポーツ施設等の維持が困難で廃止の方向にある。5市で連携して子どもや圏域住民が使えるようにしてほしい。情報交換の頻度はどのくらいか。頻度を上げて連携してほしい。

(事務局)

- ・幹事会での情報交換は、年間1・2回程度行っている。

(宮原委員)

・広域利用の図書館の本の返却について、他市から取り寄せの場合は自市で返却できるが、他市の図書館で借りた場合は返却に行かなければならず不便。前回は質問したが、その後如何か。

(事務局)

・図書館の連絡会で相談している。図書館間での配送や破損チェック等の課題があり進展ないと聞いている。

(ふせ委員)

- ・清瀬市以外で出張所廃止を検討している市はあるか。小平市は如何か。

(事務局)

- ・清瀬市以外での出張所廃止の検討は確認していない。

(高橋委員)

- ・小川駅西口地区市街地再開発で、高層マンション内に西部出張所を移転する予定がある。

(3) 清瀬市立科山荘の相互利用の終了について

(事務局)

- ・老朽化等の施設運営上の課題があり、昨年12月市議会定例会で、令和6年度末での施設廃止が可決された。宿泊利用の終了時期が決まり次第、相互利用を終了させる。協議会Webサイトや広報紙等で周知していく。

●質疑応答

(土方委員)

- ・廃止後の取壊・売却等の方向性は如何か。耐震等活用可能な建物か。熊は出るか。

(事務局長)

- ・立科町とも協議中。新耐震基準建物で問題ないが、空調等の大規模改装に費用がかかる。熊は聞いたことがない。

(ふせ委員)

- ・東村山市白州山の家は、どこにあるのか。廃止の話はないか。他市も利用できる施設か。

(土方委員)

- ・山梨県北杜市。今のところ廃止の話はない。

(事務局)

- ・白州山の家は誰でも利用可能。予約申込時期が市民、圏域住民、それ以外で異なる。

(宮原委員)

- ・検索したところ、予約は東村山市民が6か月前から、多摩六都の構成市は4か月前から。施設自体は誰でも利用できる。

5 その他

(事務局)

- ・会議資料のタブレットやパソコンでの閲覧について、感想や意見等を伺いたい。

(高橋委員)

- ・会議中のインターネット検索は良いのか。

(事務局)

- ・活用基準案で、会議中は会議に関係ないインターネット閲覧は行ってはならないとしている。

(八矢委員)

- ・Wi-Fiの扱いについて

(事務局)

- ・多摩六都科学館組合に伝える。

(土方委員)

- ・Webサイトのログインについて

(事務局)

- ・パスワード等は定期的に更新する。会議資料は委員の任期中掲載する。
- ・多摩六都科学館から、30周年記念式典の案内を机上配布した。3月2日(土)午前10時から

6 閉会